

2026年1月発売

金村 修『写真批評』

月刊誌『家電批評』での人気連載が単行本化

2016年から2025年にかけて月刊誌『家電批評』に連載された「金村修の写真批評」から厳選したテキストに、新たに加筆・修正して編まれた写文集。芸術論・写真論を軸に、音楽と写真、時評、カメラをめぐる話題までを横断し、写真家を志す人へ向けた思考と言葉を凝縮した一冊。約100点の写真作品を収録し、全360ページに及ぶ大ボリュームの、金村修初となる本格的な写真批評集。

写真は「表現」や「創造」の敵です。だって機械が撮ったのですよ。そこに「表現」や「創造」の要素が入り込む余地はありません。「創造」という言葉もいやですね。わたし達は創造主という神じゃない。どちらかといえば神はカメラで、写真家はその下僕です。そして写真はまだ想像力の敵でもあります。写ったものしか見ることができないですから、そこに想像の力を發揮する余地もありません。よく写真を見ていろんなことを想像して語る人がいますが、もっと画面をよく見ろと言いたいですね。お前のつまらない想像なんてどうでもいい。重要なのは画面に写っているものだと声を大にして言いたいです。ただそうなると写真を語る言葉というのは、犬が写っているとか、ビルが写っているとかそんな退屈なトートロジーでしかなくなるのですが、そういう退屈さもまた写真の面白いところです。

（金村 修『写真批評』あとがきより）

定価：3,600円+税

A5判（148×210mm）、並製、ソフトカバー

360頁（モノクロ）

ISBN：978-4-910646-06-0 C0072



かねむら・おさむ 1964年、東京都生まれ。写真家。20代半ばまでミュージシャンを志す。1989年、東京綜合写真専門学校入学。タブロイド紙配達のアルバイトをしながら、都市の写真を撮り始める。1992年、東京綜合写真専門学校在校中にオランダ・ロッテルダム写真ビエンナーレに招聘され、1996年、MoMAによる「世界の注目される6人の写真家」のひとりに選出される。1997年、東川町国際写真フェスティバル新人作家賞、日本写真協会新人賞受賞。2000年、史上2番目の若さで、土門拳賞を受賞。2014年に伊奈信男賞、2025年に写真の会賞を受賞。主な写真集に『Spider's Strategy』『Concrete Octopus』ほか、著書に『漸進快楽写真家』『挑発する写真史』（タカザワケンジとの共著）などがある。

▶ご注文はツバメ出版流通まで FAX: 03-3721-1922

mail: info@tsubamebook.com
TEL: 03-6715-6121 <https://tsubamebook.com>

貴店印（番線印）

新刊 PCT

info@photoandculture-tokyo.com

返品条件付き注文扱い

返品了解

ツバメ出版流通：川人

注文数

『写真批評』

金村 修

ご担当： 様

ISBN978-4-910646-06-0 C0072 定価：3,600円+税